



4th Asia-Pacific Water Summit
Kumamoto Japan 2022

4th ASIA-PACIFIC WATER SUMMIT KUMAMOTO JAPAN 2022

PHOTO BOOK

第4回 アジア・太平洋水サミット写真誌
2022.4.23 sat — 24 sun 熊本城ホール

持続可能な 発展のための水

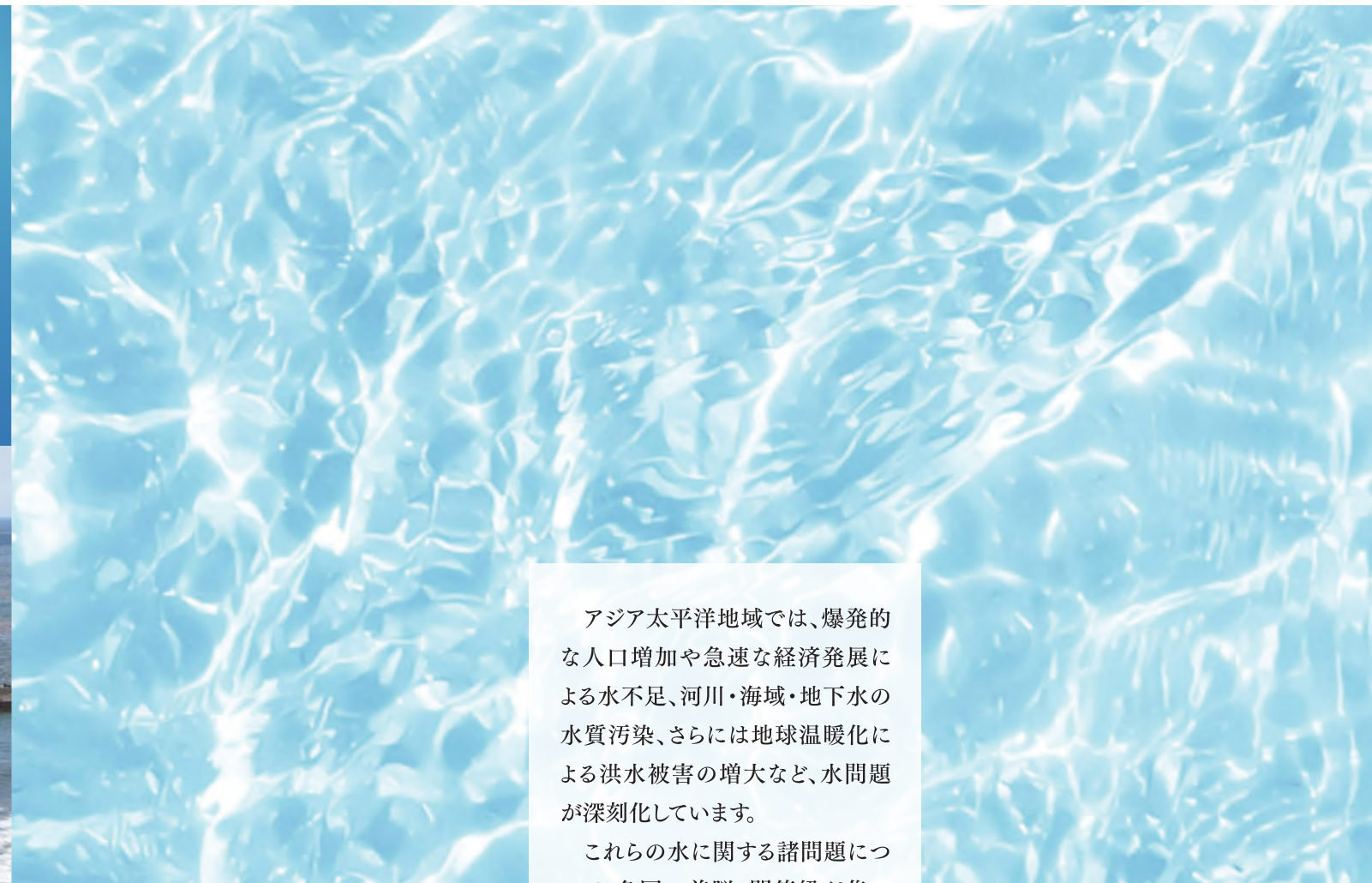
～実践と継承～

Water for Sustainable
Development -Best Practices
and the Next Generation-

アジア太平洋地域では、爆発的な人口増加や急速な経済発展による水不足、河川・海域・地下水の水質汚染、さらには地球温暖化による洪水被害の増大など、水問題が深刻化しています。

これらの水に関する諸問題について、各国の首脳・閣僚級が集い課題解決を図る国際会議「第4回アジア・太平洋水サミット」を、令和4年(2022年)4月23日・24日に熊本市で開催しました。

この写真誌では、「第4回アジア・太平洋水サミット」の様子を写真で振り返ります。





道の
開催までの

アジア太平洋地域において深刻化する水問題。その解決には、地域の特性や自然環境を生かした熊本地域の住民・事業者・行政協働による地下水保全の取組が参考になると考え、平成30年（2018年）、熊本市はアジア・太平洋水サミットの開催都市に立候補しました。

平成31年（2019年）1月にシンガポールで開催された「第23回アジア・太平洋水フォーラム執行審議会」において、令和2年（2020年）10月の熊本市開催が決定しましたが、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、令和2年（2020年）4月に開催延期を決定、同年10月に新たな開催日を公表しました。

そして令和4年（2022年）4月23日・24日、国内外の首脳・閣僚級参加のもと「第4回 アジア・太平洋水サミット」を開催しました。

平成30年（2018年）	11月30日	アジア・太平洋水サミット事務局である「特定非営利活動法人日本水フォーラム」によりヒアリング実施
平成31年・令和元年（2019年）	1月11日	「第23回アジア・太平洋水フォーラム執行審議会」において熊本市開催と開催日程（令和2年10月19日・20日）を決定
	7月5日	第4回アジア・太平洋水サミット熊本市運営委員会発足
令和2年（2020年）	4月22日	開催延期を公表
	10月7日	新たな開催日程（令和4年4月23日・24日）を公表
令和4年（2022年）	4月23日・24日	第4回アジア・太平洋水サミット 開催

4th
ASIA-PACIFIC
WATER
SUMMIT
KUMAMOTO
JAPAN
2022

第4回 アジア・太平洋水サミット
熊本市 2022

プログラム Program

1日目 2022.04.23(土)						
時 間	メインホール				シビックホール	展示ホールB
10:00-11:30	開会式					
11:30-12:50	昼食					
12:50-15:20	首脳級会合				13:10-14:40 サイドイベント1 海と日本プロジェクト in くまもと	
15:20-15:40	コーヒープレイク					
15:40-17:10	メインホール	大会議室A1	大会議室A2	大会議室A3	15:10-16:40 サイドイベント2 九州水フォーラム	12:30-18:40 現地展示会
17:10-17:30	コーヒープレイク					
17:30-19:00	特別セッション (ショーケース)	分科会4 水と貧困／ ジェンダー	分科会5 水と衛生／ 汚水管理	分科会6 ユースによる リーダーシップ、 イノベーション	17:10-18:40 サイドイベント3 宇宙航空研究 開発機構(JAXA)	
	ハイレベル ステートメント	分科会1 水と災害／ 気候変動	分科会2 水供給	分科会3 水源から海までの 水と環境		
2日目 2022.04.24(日)						
時 間	メインホール	大会議室A1	大会議室A2	大会議室A3	シビックホール	展示ホールB
9:00-10:30				特別セッション (島しょ国)		
10:30					10:30-12:00 サイドイベント4 国土交通省 九州地方整備局 熊本河川国道事務所	
11:00-12:30	ハイレベル ステートメント	分科会7 水と食料	分科会8 水と文化と平和	分科会9 地下水を含む 健全な水循環		
12:30-14:00	昼食				12:30-14:00 サイドイベント5 「水の国くまもと」 シンポジウム 実行委員会	10:30-17:00 現地展示会
14:00-15:30		統合セッション1 科学技術	統合セッション2 ガバナンス	統合セッション3 ファイナンス		
15:30-16:00	コーヒープレイク					
16:00-17:30	総括統合 セッション				14:30-18:00 サイドイベント6 林野庁	
17:30-18:00	コーヒープレイク					
時 間	メインホール					
18:00-18:35	閉会式					

会場 Venue

1F

● 現地展示会

2F

● サイドイベント1～6

3F

● 分科会1～9
● 統合セッション1～3
● 特別セッション(島しょ国)

4～6F

● 開会式
● 首脳級会合
● ハイレベル
ステートメント
● 特別セッション
(ショーケース)
● 総括統合セッション
● 閉会式

参加国一覧 Participants



サミットには、岸田文雄内閣総理大臣をはじめ、カンボジアのフン・セン首相、ツバルのカウセア・ナタノ首相、ラオスのパンカム・ヴィパヴァン首相、ウズベキスタンのサルドール・ウムルザーコフ副首相が対面で参加。オンラインでブータンとベトナム、ビデオメッセージでインドネシア、キルギス、スリランカ、タイ、タジキスタン、トルクメニスタン、ナウル、ニウエ、フィリピン、バングラデシュ、マーシャル諸島の首脳級が参加しました。首脳・閣僚級の参加は、29カ国に及びました。

首脳級対面参加国

カンボジア※ / ツバル / ラオス※ / ウズベキスタン※

首脳級オンライン参加国

ブータン / ベトナム※

首脳級ビデオメッセージ参加国

インドネシア※ / キルギス※ / スリランカ / タイ / タジキスタン※ / トルクメニスタン
ナウル / ニウエ※ / フィリピン※ / バングラデシュ / マーシャル諸島

閣僚級対面参加国

カンボジア / ラオス / ウズベキスタン / インドネシア / タジキスタン / ニウエ
フィリピン / インド / ブルネイ / モルディブ

閣僚級オンライン参加国

キルギス / シンガポール / パラオ / フィジー / アルメニア

閣僚級ビデオメッセージ参加国

アゼルバイジャン / 韓国 / ソロモン諸島 / ネパール / モンゴル

※上記計38カ国のうち、9カ国(※)は首脳級・閣僚級双方参加なので、実質29カ国の参加

Ceremony Meeting

式典・会議

4th Asia-Pacific Water Summit Kumamoto Japan 2022

開会式

令和4年(2022年)4月23日(土)

10:00~11:30

熊本城ホール／メインホール

熊本市が主催する初の国際会議「第4回アジア・太平洋水サミット」は4月23日、合同実行委員会委員長で、アジア・太平洋水フォーラム会長の森喜朗氏の開会挨拶で幕を開けました。

天皇陛下がオンラインで開催の祝辞を述べられた後は、岸田文雄内閣総理大臣、アントニオ・グテーレス国連事務総長が挨拶。開催都市・熊本市の大西一史市長が後に続き、アジア・太平洋水フォーラム執行審議会のマーク・パスコー議長による報告によって式典が厳かに進められ、開会式の最後は、ユース2人によるサミット開始宣言で締めました。



APWF からの報告／マーク・パスコー執行審議会議長



熊本城ホールメインホールで開かれた開会式。来賓を含め約700人が出席した



開会挨拶／アジア・太平洋水フォーラム 森喜朗会長



天皇陛下のおことば



ご挨拶／岸田文雄内閣総理大臣



ご挨拶／アントニオ・グテーレス国連事務総長

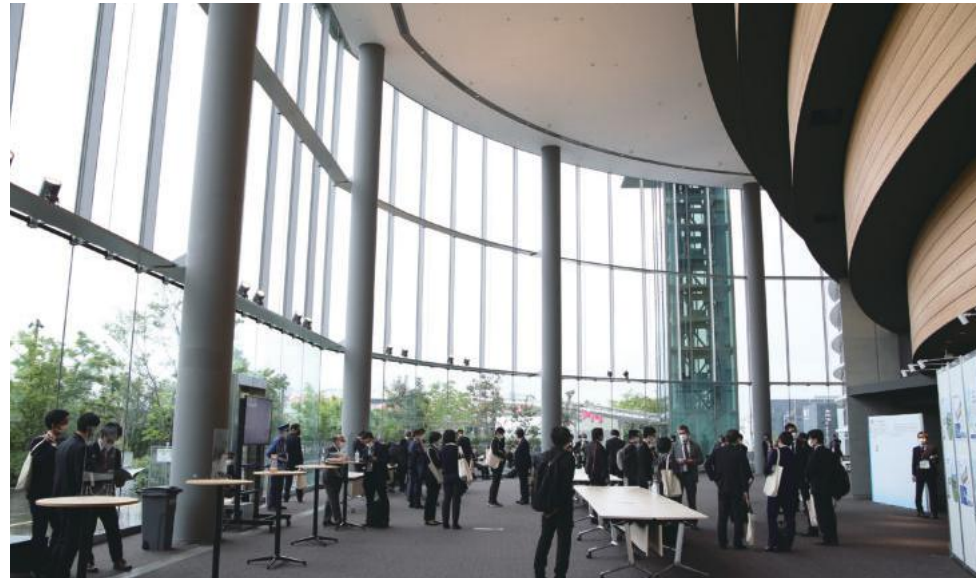


開催都市挨拶／熊本市長 大西一史



ユース代表による開始宣言

開
会
式



上／熊本城ホール4階のホワイエ 下左／厳重なセキュリティが施されたエントランスロビー 下右／2階シビックホールの入場受付



開会式後の記者会見で、報道陣の取材に応じる岸田首相



天皇陛下のおことば



天皇陛下記念講演(オンライン)

令和4年(2022年)4月23日(土)

10:00~11:30

熊本城ホール／メインホール

11:30~12:00

熊本城ホール／大会議室

開会式のセレモニーの後、天皇陛下による「人の心と水・信仰の中の水に触れる-」と題した記念講演が行われました。

記念講演終了後には、水課題解決に向けた動画を作成した「ユース水フォーラム・九州」の高校生らとオンラインで懇談も行われました。

記念講演では冒頭、「はじめに-熊本の人と水によせて-」と題し、「古来、人と水とが深く関わってきた熊本市で『第4回アジア・太平洋水サミット』の記念講演を行うことをうれしく思います」と述べられました。さらに「人口74万人すべての飲料水を良質な地下水で賄っていることは世界でも稀であり、多くの市民の皆さんが水環境の保全に取り組んでいるからこそ。熊本市は、まさに清冽な水の都と言えるでしょう」と評されました。

続いて、国内外の水に関する民俗信仰の事例を紹介。水への感謝や畏れが祈りの対象に変化し、地域を超えて水を通じた信仰に繋がったことを、陛下が自ら撮影された写真を交えて解説されました。

また、SDGsの進捗状況に触れられ、これらの達成に向けた取組などを通じて「全世界の平和と繁栄に繋がることを心から願う」と述べられました。



オンラインで記念講演される天皇陛下



首脳級会合「熊本宣言」

令和4年(2022年)4月23日(土)

12:50~15:20

熊本城ホール／メインホール

首脳級会合では、対面・オンラインにより各国首脳が参加し「熊本宣言」が採択されました。

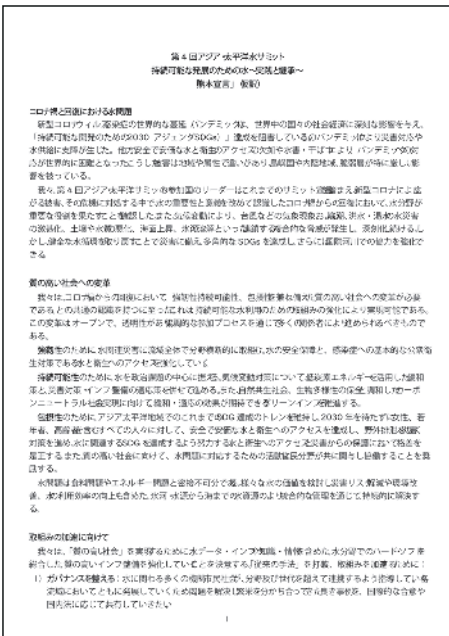
「熊本宣言」は、参加国の様々な意見を踏まえ、コロナからの回復において、水の持続性についての取組を強化すること、強靱性、持続可能性、包摂性を兼ね備えた質の高い社会への変革のために、ガバナンス、ファイナンス、科学技術の3つの観点から簡潔かつ包括的にまとめられ、各国首脳級から参加者に議論を促し、実質的な行動を求めた新しい形の宣言となりました。このような宣言が採択されたことは大変意義深く、一方で、開催地としての実践に向けた責任を新たにしました。



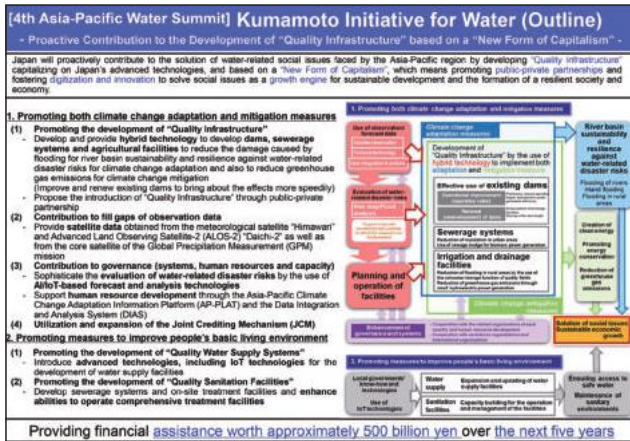
首脳級会合において、「熊本宣言」を採択し記念撮影を行う各国首脳、APWF会長など



首脳級会合において、「熊本水イニシアティブ」を発表する岸田総理大臣



「熊本」の名前を冠した熊本宣言



熊本水イニシアティブ（概要）



特別セッション(ショーケース)

令和4年(2022年)4月23日(土)
17:30~19:00
熊本城ホール/メインホール

大西一史熊本市長をはじめ、インドネシア、スリランカ、フィリピンの代表が、強靱で持続可能性と包摂性を有する質の高い社会の実現を目指すための4つの取組事例を紹介しました。

大西市長は、熊本の流水治水や水循環の取組を発表しました。

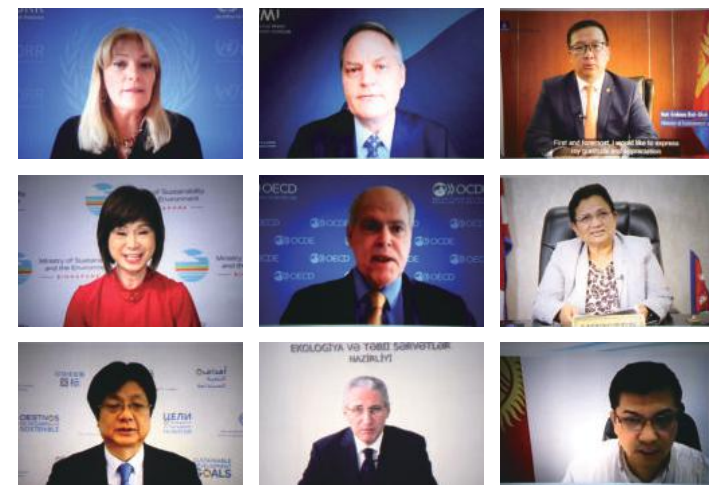


ハイレベルステートメント

令和4年(2022年)4月23日(土)
15:40~17:10
熊本城ホール/メインホール

令和4年(2022年)4月24日(日)
11:00~12:30
熊本城ホール/メインホール

ハイレベルステートメントでは、ブルネイ、インドネシア、インド、ラオスなどの代表が各国の水に関する課題などのステートメントを実施。SDGsの達成に向けた「水」に関する各機関の具体的な取組状況などを発表しました。



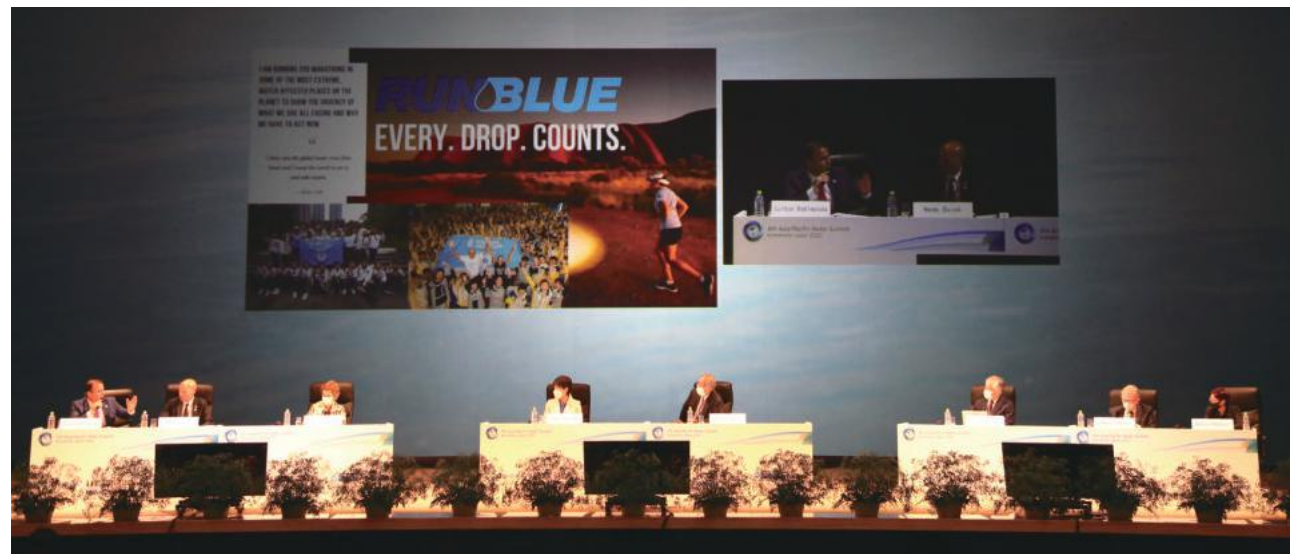
総括統合セッション

令和4年(2022年)4月24日(日)

16:00~17:30

熊本城ホール／メインホール

「熊本宣言」において、参加首脳から問われた質問に対する回答を導き出すために「ガバナンス」「ファイナンス」「科学技術」の3つの観点で議論された統合セッション。そのメッセージと提言を受けて、さらなるディスカッションが交わされ、令和5年(2023年)に開催される「国連水会議」への道しるべを示しました。



特別セッション(島しょ国)

令和4年(2022年)4月24日(日)

9:00~10:30

熊本城ホール／大会議室A3

アジア太平洋地域の各国が、それぞれに抱える深刻な水問題について発表。島しょ国特有の水・衛生問題や気候変動による災害への脆弱性について議論しました。



分科会

令和4年(2022年)4月23日(土)

15:40~19:00

熊本城ホール／大会議室A1・A2・A3

令和4年(2022年)4月24日(日)

11:00~12:30

熊本城ホール／大会議室A1・A2・A3

9つのテーマで開かれた分科会。意義深い議論が交わされました。テーマは次の通り。「水と災害/気候変動」「水供給」「水源から海までの水と環境」「水と貧困/ジェンダー」「水と衛生/汚水管理」「ユーザーによるリーダーシップ/イノベーション」「水と食料」「水と文化と平和」「地下水を含む健全な水循環」。



分科会の前後でこやかに交流し合う参加者



[分科会 1] 水と災害／気候変動



[分科会 2] 水供給



[分科会 3] 水源から海までの水と環境



[分科会4] 水と貧困／ジェンダー



[分科会7] 水と食料



[分科会5] 水と衛生／汚水管理



[分科会8] 水と文化と平和



[分科会6] ユースによるリーダーシップ、イノベーション



[分科会9] 地下水を含む健全な水循環



閉会式

令和4年(2022年)4月24日(日)

18:00~18:35

熊本城ホール／メインホール

閉会式では、大西一史熊本市長、上川陽子衆議院議員・水制度改革議員連盟会長、中山展宏国土交通副大臣らが登壇。共同議長であるハン・スンス氏、上川衆議院議員によるセッション報告の後、マーク・パスコーAPWF議長が、サマリーを発表しました。

主催者を代表して閉会挨拶を行った大西市長は、サミット開催に至る関係者の協力に謝意を表し、「水の未来について、この地熊本で、心をひとつにした瞬間を忘れず、自国へ戻られても水に関する行動を続けられることを願います」と話しました。



チャンファ・ウーAPWF執行審議会副議長



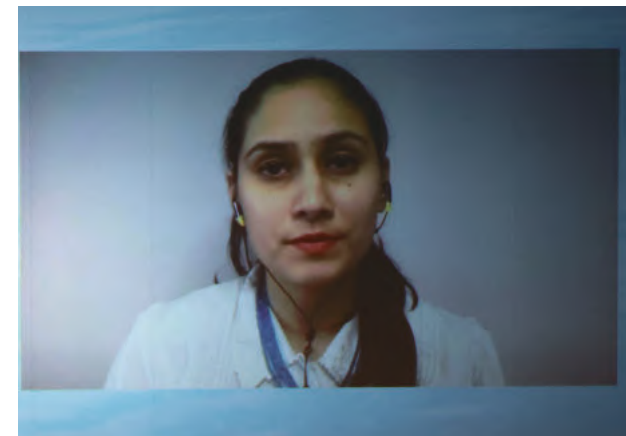
マーク・パスコーAPWF執行審議会議長



共同議長のハン・スンス氏



ラビ・ナラヤナン元ウォーターエイドCEO



ユースのカリシマ・アソーダさん



ユースの酒井耀さん



上川陽子衆議院議員



中山展宏国土交通副大臣



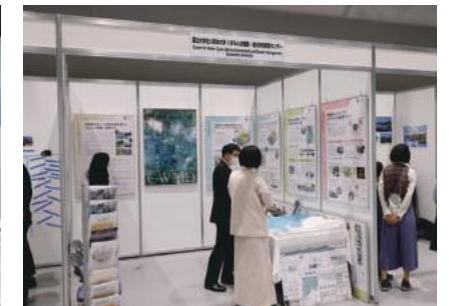
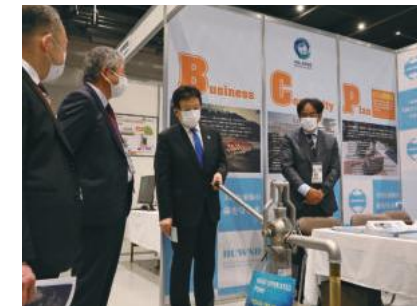
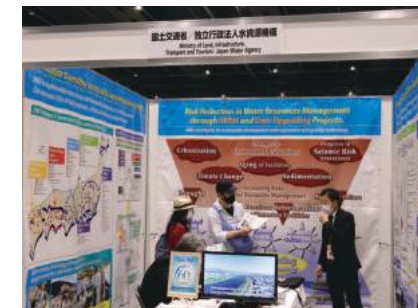
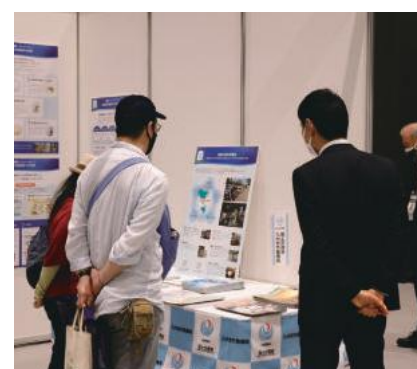
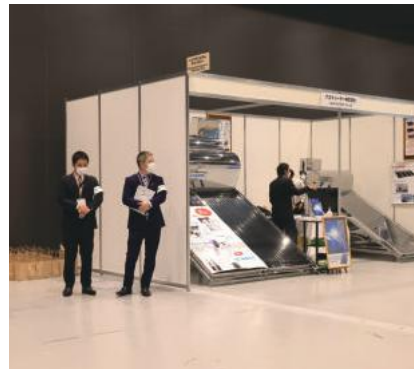
大西一史熊本市長

サイドイベント(現地展示会)

令和4年(2022年)4月23日(土)
12:30~18:40
熊本城ホール/展示ホールB
(オンライン 9:00~18:40)

令和4年(2022年)4月24日(日)
10:30~17:00
熊本城ホール/展示ホールB
(オンライン 9:00~19:00)

全国の企業や団体が、水などに関する技術、製品、取組などを25のブースで展示し、対面・オンラインで発信しました。
「インフラシステム/テクノロジー」「くまもとの自然」「未来への継承」「文化・研究/サステナビリティ」「世界/宇宙から見た水問題」の5つのカテゴリーに分けられたブースは、多くの来場者でにぎわいました。大西市長も視察に訪れ、出展者と触れ合いました。



〈出展者一覧〉

【インフラシステム/テクノロジー】国土交通省 九州地方整備局/大成建設株式会社/国土交通省/独立行政法人水資源機構/次世代のためにがんばる会&国土交通省 八代河川国道事務所/スマートエナジー熊本株式会社/一般社団法人 全国さく井協会 九州支部/株式会社テクアノーツ(飛鳥建設グループ)/アズマソーラー株式会社/国土交通省 関東地方整備局 荒川下流河川事務所/SIP「国家レジリエンス(防災・減災)の強化」
【くまもとの自然】公益財団法人熊本市上下水道サービス公社/阿蘇ユネスコ世界ジオパーク/白川中流域土地改良区協議会/豊かな地下水を育むネットワーク/水と緑ワーキンググループ/NPO法人くまもと未来ネット/有機無農薬の百草園
【未来への継承】NPO法人ディスカバリーくまもと/国立大学法人熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター/ユース水フォーラムくまもと/ユース水フォーラム・九州
【文化・研究/サステナビリティ】八坂かっぱクラブ(大分県)/滋賀県/コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社/ミツカン水の文化センター
【世界/宇宙から見た水問題】台北駐日経済文化代表処・台湾屏東県政府/国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構(JAXA)

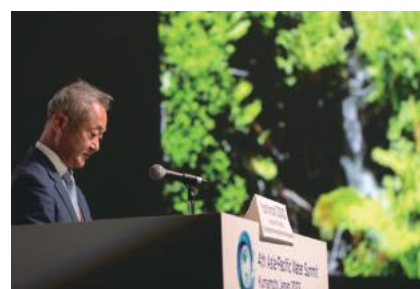
サイドイベント(シンポジウム)

令和4年(2022年)4月23日(土)
13:10~14:40、
15:10~16:40、
17:10~18:40
熊本城ホール/シビックホール

令和4年(2022年)4月24日(日)
10:30~12:00、
12:30~14:00、
14:30~18:00
熊本城ホール/シビックホール

サイドイベントとして6つのシンポジウムが開催され、対面・オンラインで多くの一般市民が参加しました。

24日に開催された『『水の国くまもと』シンポジウム～熊本地域における地下水保全の取り組み～』では、熊本市と周辺市町村特有の水循環の仕組みや、県民・民間・行政が一体となった地下水保全の取組が紹介されました。



Kumamoto City's Efforts

熊本市の取組

4th Asia-Pacific Water Summit Kumamoto Japan 2022

空港・ホテルでのおもてなし

阿蘇くまもと空港では、政府専用機で来熊されたラオス、カンボジア首相をお出迎えました。
本市へのご来訪が、参加された皆様にとって素晴らしい思い出となることを祈念し、また、本市の魅力を少しでも感じていただけるよう、ホテルには、熊本産のお花やフルーツ、お菓子などを用意しました。



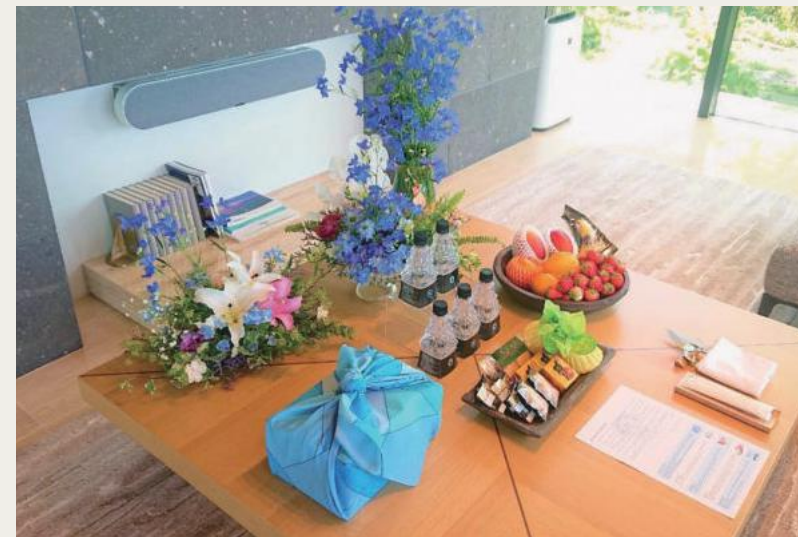
カンボジア王国のフン・セン首相



ラオス人民民主共和国のパンカム首相



ホテルの各部屋には、参加者に合わせたメッセージカードを用意



海外からの参加者には、国旗もデコレーション

熊本市主催夕食会

来熊いただいた海外首脳に対し、熊本市が主催する夕食会を開催。熊本の背景、食材を生かした熊本ならではの心の籠ったメニューで「おもてなし」しました。



熊本城をバックに記念撮影



料理は和洋食コース



バンカム・ヴィパヴァン・ラオス首相を迎える大西市長



大西市長から歓迎の挨拶



カウセア・ナタノ・ツバル首相による答礼挨拶



乾杯



熊本城おもてなし武将隊による歓迎演舞を披露



熊本城おもてなし武将隊との記念撮影



記念品贈呈(ツバル首相)



記念品贈呈(ラオス首相)



記念品は熊本の伝統工芸品「肥後象眼」

歓迎装飾・パネル展示

熊本市にお越しいただく皆様をお迎えするにあたり、阿蘇くまもと空港、熊本駅、中心市街地やサミット会場周辺には、歓迎看板などの装飾を施しました。



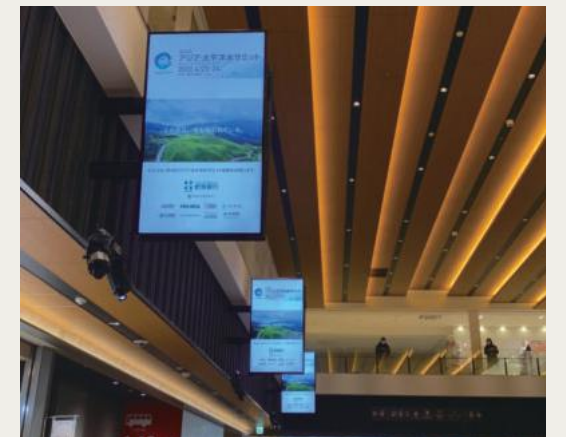
「阿蘇くまもと空港」は、出入口や通路の横断幕のほか、手荷物受取所ステッカーでPR



「熊本駅」は、白川入口や総合観光案内所の横断幕のほかデジタルサイネージでPR



会場に隣接する商業施設「サクラマチクマモト」入口の横断幕



「サクラマチクマモト」のデジタルサイネージ



観光施設「城彩苑」にも看板を設置



熊本市役所の横断幕とエレベーターのラッピング



中心商店街のアーケードでは横断幕でPR



大型ビジョンでPR動画を放映



街路樹にはフラッグを掲出し、通りを装飾



海外1国1チーム

サミットに参加する海外首脳級等が本市滞在を快適に過ごしていただくために、参加国ごとにサポートチームを結成し、各国の随行員（外務省・国交省・業者等）と連携しながら、視察、ホテル等滞在、サミット参加、コロナ検査等のサポートを行いました。



立野ダム視察



旧東海大学阿蘇キャンパス視察



空港でのお出迎え



熊本城視察



水前寺成趣園視察



健軍水源地



ホテルでのお見送り

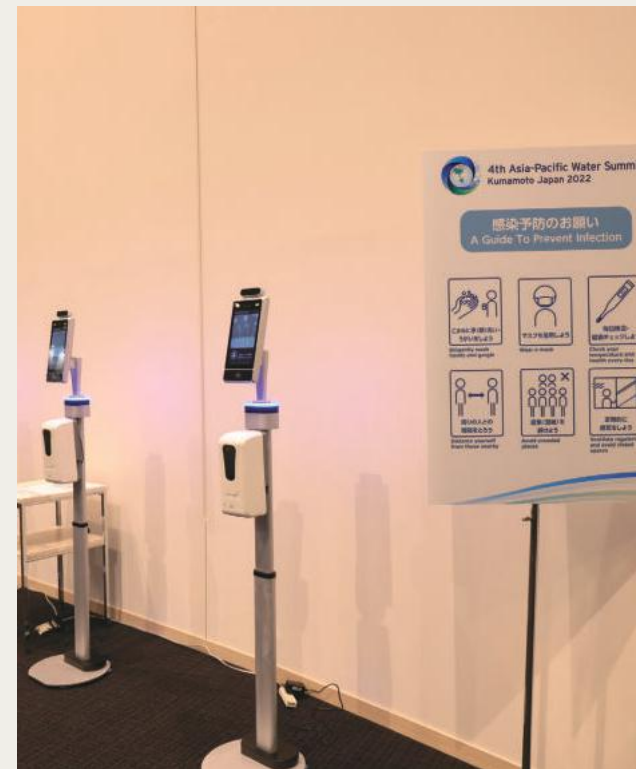


新型コロナウイルス感染症対策

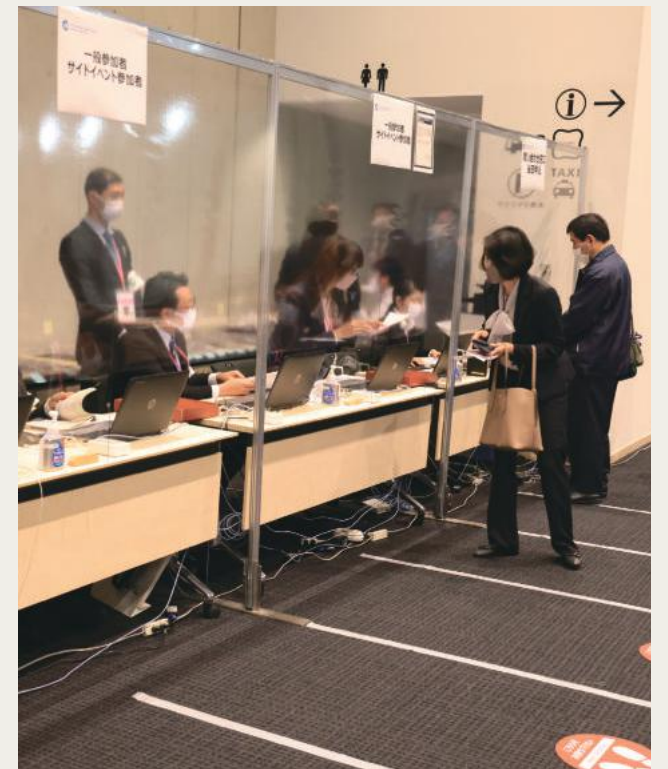
本サミットにおいては、すべての参加者に対し、国の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」をはじめとする各種ガイドラインを踏まえ策定した「感染対策ガイドライン」に基づき、徹底した感染防止対策を講じました。

海外からの参加者に対しては、入国の72時間前に検査を行い、その陰性証明を提出していただくとともに、空港での入国時の検査のほか、熊本市に滞在中にもPCR検査と健康観察を実施しました。

なお、本サミットでは、入国後に陽性となった方及び体調不良となった方は確認されませんでした。



検温器・自動手指消毒器



受付にはビニールカーテン、床にはフィジカル・ディスタンスの確保を呼びかけるフロアサインを設置



フィジカル・ディスタンスを確保できるレイアウト



スピーカーの間にはアクリル板を設置

エクスカーション

開催市におけるサミット参加者への「おもてなし」の一環として、熊本の地下水が育む豊かな自然や文化を体験していただくエクスカーションを「熊本城ナイトツアー」「熊本伝統文化体験ツアー」「熊本の水循環ツアー」の3つのコースで実施しました。

熊本城ナイトツアー

名将・加藤清正によって築かれ、日本三名城の一つに数えられる熊本城。平成28年(2016年)に発生した熊本地震では甚大な被害を受けましたが、令和3年(2021年)、天守閣全体が復旧しました。復興のシンボルとして威風堂々とそびえ立つ夜の熊本城を堪能いただきました。



熊本伝統文化体験ツアー

能楽殿で、熊本の琴・尺八奏者が、水にまつわる曲を演奏し、お茶会では、水をモチーフにした和菓子や玉露が振る舞われました。熊本県の伝統工芸品を展示している熊本県伝統工芸館の見学も行われ、参加者には、熊本の伝統文化を堪能いただきました。



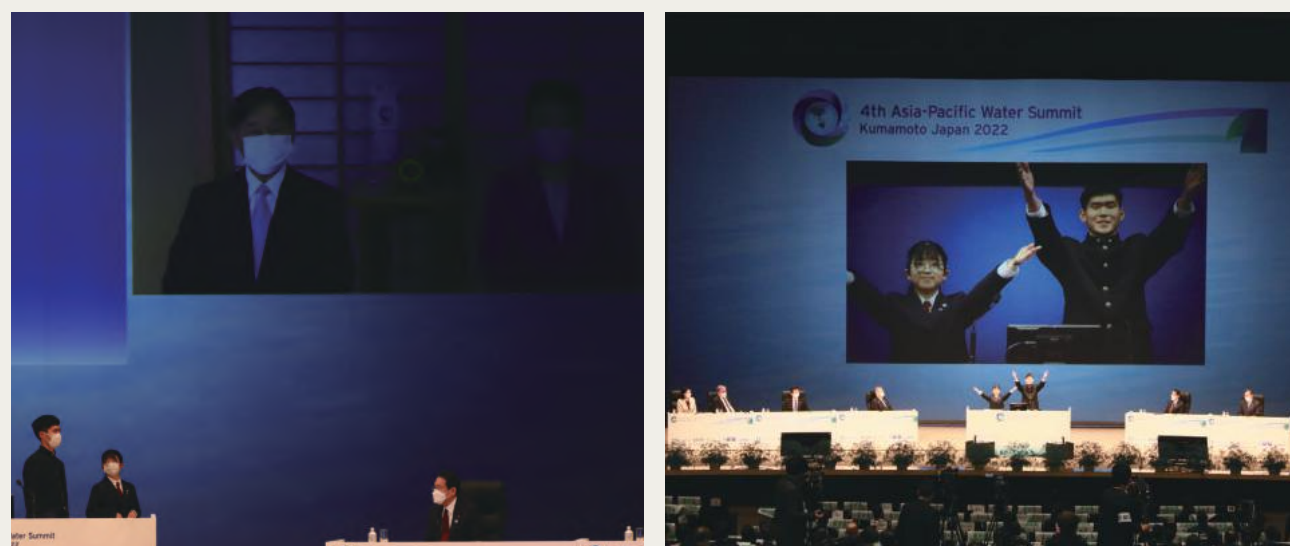
熊本の水循環ツアー

水道水の100%を地下水で賄う稀有な都市熊本市の、豊富な水資源の秘密について探るツアーで、「池の川水源」「水前寺成趣園」「健軍水源池」を見学しました。



ユース水フォーラム

世界中が水問題への関心を高めている中、特に災害の原因となる「水」への取組に叡智を蓄積してきた日本では、この取組を次世代に継承すべく、また、高校生がその取組を通じて国際人としての素養を養うべく「ユース水フォーラム」が設立されました。本サミットでは、次の世代を担う「ユース水フォーラム・九州」の高校生が活躍しました。



開会式では、熊本県立熊本北高等学校の生徒2人がサミット開始を英語で宣言



水問題解決に向けた動画を作成し、天皇后両陛下とオンラインで懇談を行った3組の高校生



展示会場では、外国人とも通訳を介さずに英語で意見交換



共同記者会見

サミット閉幕後に開かれた主催者共同記者会見には、大西一史熊本市長、竹村公太郎JWF代表理事・事務局長、マーク・パスコーAPWF執行審議会議長、チャンファ・ウーAPWF執行審議会副議長が登壇。記者からの質問に各氏が答えた後、大西市長は「本サミットで採択された『熊本宣言』が国連水会議で示されることで、アジア太平洋地域をはじめ、世界の水問題の解決に繋がると確信しています」と締めくくりました。



竹村公太郎JWF 代表理事・事務局長



大西一史熊本市長



マーク・パスコーAPWF執行審議会議長



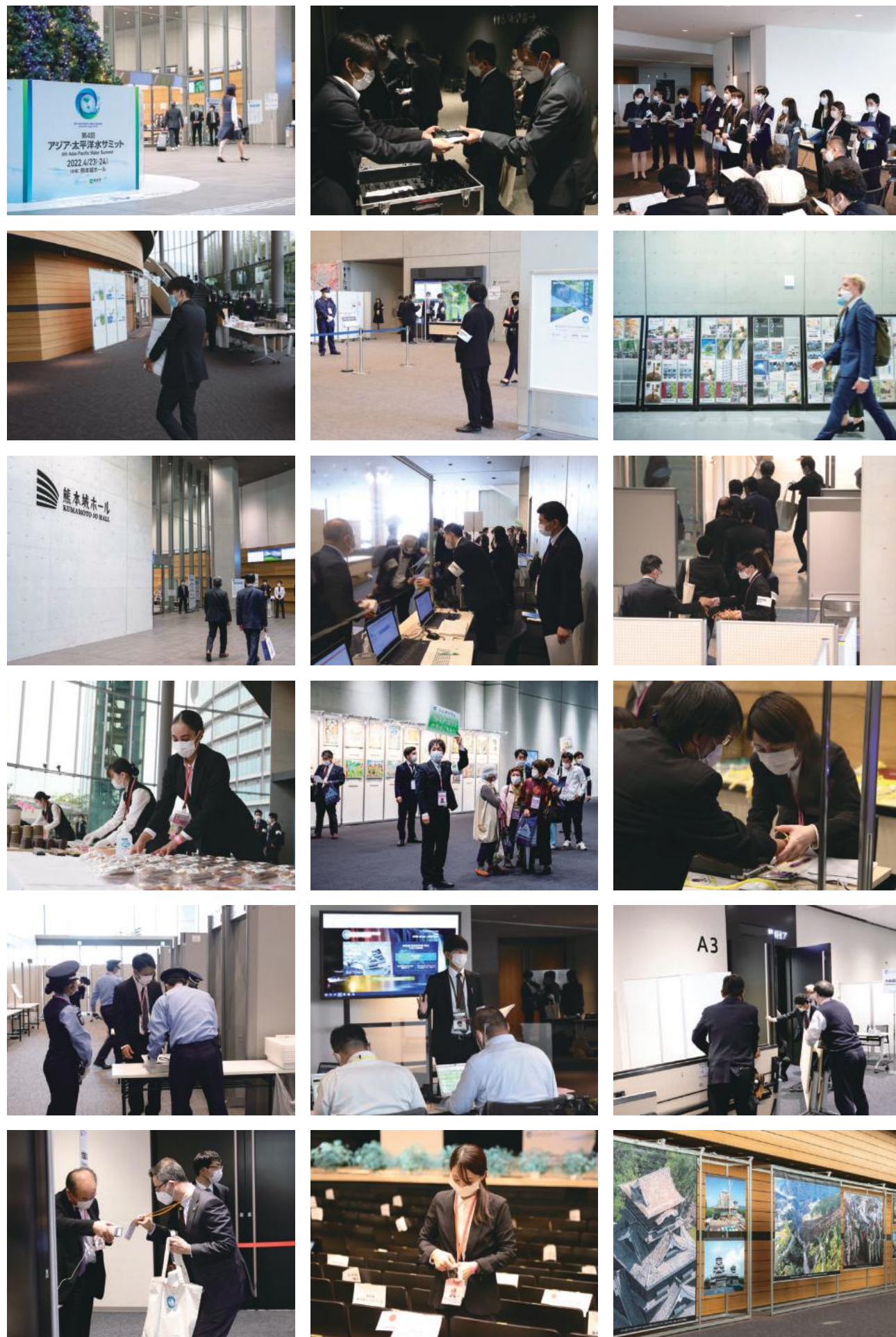
チャンファ・ウーAPWF執行審議会副議長



協賛社記者会見

サミットのメインスポンサーである株式会社肥後銀行は、地下水涵養を目指し、森林保全・育成事業や水田湛水事業などを行っています。支店への防災井戸の設置など防災に関しても多く取り組んでいる同行の笠原慶久頭取は記者会見で、「地元・熊本に根差した銀行として、地域の持続性が高まるような活動をしていきたい」と意欲を示しました。





サミットの成果を 次の世代へ

本サミットは、様々な地域の水に関する課題を共有し、各地の社会課題解決に向けた新たな展開や未来に向けたメッセージが生まれるなど、質の高い国際会議となりました。

特に、「熊本」の名を冠した「熊本宣言」は、ガバナンス、ファイナンス、科学技術の3つの観点から簡潔かつ包括的にまとめられ、各国首脳級から参加者に議論を促し実質的な行動を求める新しい形の宣言となりました。

また、我が国においても、これらの実現を加速させるため、地域のインフラ整備などに対して今後5年間で約5,000億円を支援するという「熊本水イニシアティブ」が、岸田首相により表明されました。

私たちは、サミットの成果を国内外に広く発信し、様々なステークホルダーとの連携を強化しながら、水に関する課題解決に率先して取り組むことで、誰ひとり取り残されない持続可能な社会の実現を目指していきます。

